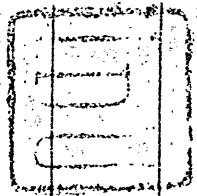


大正十二年十二月二十九日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛



任内務大臣

正三位勲一等水野錬太郎

任大藏大臣

正四位勲一等勝田主計

任陸軍大臣

陸軍次官陸軍中將西郷菊次郎 宇垣一成



一月七日發行

大正十二年十二月二十九日
内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

海軍大將正三位勳等功三級 村上 格一

任海軍大臣

檢事從三位勳等 鈴木喜三郎

任文部大臣

從三位勳等 江本 千之

陸軍中尉從三位勳等子爵 前田 利定
任農商務大臣

任遞信大臣

從四位勳等男爵 藤村 義朗

任鐵道大臣

從三位勳二等 小松謙次郎

依願免本官

內務大臣兼帝
都復興院總裁

子爵 後藤 新平

大藏大臣

井上準之助

陸軍大臣 男爵 田中義一

海軍大臣

財部 廳

司法大臣

平沼騏一郎

依願免本官

文部大臣兼
農商務大臣

岡野敏次郎

依願免本官茲兼官

逋信大臣

大養毅

鐵道大臣

山之内一太

依願免本官

右

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

大正十三年一月七日

内閣總理大臣子爵清浦奎吾

本月二十七日帝國議會開院式

行啓ノ際御道筋於殿下

ニ對シ奉リ誠ニ畏多キ所為ヲ敢テ

スル者アリタルハ御警衛監督不行届

ノ致ス所臣新平内務大臣ノ任ニ在リテ

其ノ責極メテ至大ナルヲ感シ恐懼ノ至

堪ヘス謹テ辭表ヲ奉呈セシ處天恩

優渥恐懼更ニ深シ臣新平其ノ責

最モ重ク到底任ニ留ル能ハサルノ苦衷

聖鑑ヲ垂レサセ臣ノ重任ヲ解キ給ハムコト

ヲ再ニ願ヒ奉ル

大正十二年十二月二十九日

内務大臣子爵後藤新平

御願

小官儀

本官二月辞表奉呈中、處本
官上同時ニ兼官免セシ候様御執
奏相成度此段奉願候

大正十二年十二月

内務大臣兼帝都復興院總裁子爵後藤新平

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

今田ノ事変ニ當リ臣準之助惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣準之助感激恐悚ノ至ニ堪
ヘス竊ニ惟ルニ此事タル至重至大臣準之助
到底任ニ留ルニ由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハレコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

大藏大臣并公準ニ

今回ノ事変ニ當リ臣義一惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣義一感激恐悚、至ニ堪
ヘス竊ニ惟ルニ此事タル至重至大、臣義一
到底任シ留ルニ由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハンコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

陸軍大臣男爵 田中義一

今回ノ事変ニ當リ臣彫惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣彫感激恐悚ノ至ニ堪
ヘス竊ニ惟ルニ此事タル至重至大ニ臣彫
到底任ニ留ルニ由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハシコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

海軍大臣 財部 毅

今回ノ事変ニ當リ臣驥郎惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣驥郎感激恐悚ノ至、堪
ヘス竊ニ惟ル、此事タル至重至大、臣驥郎
到底任、留ル、由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハシコトヲ茲ニ 尊敬ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

司法大臣 平沼騏一郎

今回ノ事変ニ當リ臣等即惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣等即感激恐悚ノ至ニ堪
ヘス竊ニ惟ル、此事タル至重至大、臣等即
到底任シ留ルニ由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハンコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

文部大臣兼農商務大臣岡野敬次郎

今因ノ事変ニ當リ臣毅惶懼伏シテ

辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

優旨ヲ下シ給フ臣毅感激恐悚ノ至ニ堪

ヘス竊ニ惟ル此事タル至重至大 臣毅

到底任シ留ルニ由ラレ仰キ願クハ臣ノ苦衷

ヲ照鑑シ給ハシコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表ヲ上ル

大正十二年十二月二十九日

遞信大臣犬養毅

今回ノ事変ニ當リ臣一次惶懼伏シテ
辞表ヲ上リシ處

天恩厚大辱クモ

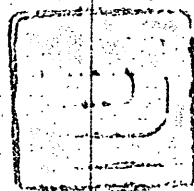
優旨ヲ下シ給フ臣一次感激恐悚ノ至ニ堪
ヘス竊ニ惟ルニ此事タル至重至大臣一次
到底任シ留ルニ由ナシ仰キ願クハ臣ノ苦衷
ヲ照鑑シ給ハンコトヲ茲ニ尊嚴ヲ冒シ

謹テ再ニ辞表シ上ル

大正十二年十二月二十九日

鐵道大臣 山之内 一 次

大正十二年十二月二十九日
午後五時
外務省
秘書長 伊集院 彦吉



特命全權大使正任勲等男爵松井 慶四郎
任外務大臣

依願免本官

右

勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス



外務省
秘書長 伊集院 彦吉